

四国初記録のユーカリキジラミ

吉富博之¹・井上広光²

¹ 愛媛大学ミュージアム

² 農研機構果樹茶業研究部門



写真1 *Blastopsylla occidentalis* ユーカリキジラミ

種の記録

Aphalaridae タデキジラミ科

Blastopsylla occidentalis Taylor, 1985

ユーカリキジラミ

標本 採集年月日:2026年6月16日, 採集場所:愛媛県松山市樽味 愛媛大学農学部構内 (33.83953 N, 132.791837E), 採集方法:見つけ採り, 個体数:多数(うち30個体を採集), 採集者:吉富博之, 標本保管:愛媛大学ミュージアム・農研機構. 採集年月日:2026年6月19日, 採集場所:愛媛県松山市北梅本 松山市農業指導センター (33.813863N, 132.857898 E), 採集方法:見つけ採り, 個体数:多数(うち10個体を採集), 採集者:吉富博之, 標本保管:愛媛大学ミュージアム.

種の特徴

全長は2mm以下で, 触角は頭幅と同長か短い. 翅は無紋で褐色を帯びる. 体色は黄褐色で, 胸部に褐色の縦縞, 腹部に褐色の横縞がある. 日本ではユーカリを寄主とするキジラミ類は本種のみが知られる.

備考

本種はオーストラリア原産で, アメリカ, メキシコ, 南米, ヨーロッパの一部などに分布拡大し, ユーカリ属(特に *Eucalyptus globulus* など)の葉や新芽にみられる. 日本からは2026年に初めて記録された外来種で (Inoue et al., 2026), 現在のところ, 大阪府と兵庫県から記録されている. 本報告が四国ならびに愛媛県からの初記録となる. 樽味では植栽されている樹高10mほどのユーカリ *E. globulus* の新芽から採集. 北梅本では植栽された樹高1mほどの苗から採集, 数(品)種が植えられていたがポポラス *E. polyanthemus* とカマルドレンシス *E. camaldulensis* からのみ得られた(ユーカリの種類は圃場にあった名札による). なお, これらのユーカリは, いずれも本種の寄主植物となることが知られている (PSYL'LIST-The World Psylloidea Database. <https://flow.Hemiptera-databases.org/psyllist/>; 2026年8月24日参照). 両地点での確認を受け, 同年6~8月に松山市・今治市・西条市などで植栽されているユーカリや市販されている苗などをチェックしたが確認できなかった. 以上のことから侵入初期と考えられる.

謝辞

本報告に際し, 松山市農業指導センターでの調査ならびに記録の報告を許可頂いた同センターの柴 竜巳氏にお礼申し上げる.

引用文献

Inoue H, Katsura K, Miyatake Y. 2026. First record in Japan of an invasive Australian psyllid *Blastopsylla occidentalis* Taylor (Hemiptera: Psylloidea: Aphalaridae), a pest of eucalyptus. Japanese Journal of Entomology (New Series), 29 (2): 99–102.

(2026年8月27日受付, 2026年9月2公開)

連絡先: 吉富博之 (e-mail: hymushi@agr.ehime-u.ac.jp) (Hiroyuki Yoshitomi and Hiromitsu Inoue. 2026. *Blastopsylla occidentalis* (Aphalaridae) newly recorded from Shikoku. NS Fieldnote, 26020)